

# 没後25年 オードリー・ヘプバーン主演 公開65周年 ローマの休日



ヨーロッパの某国の王女と新聞記者の一日限りの恋を描いた名編。オードリー・ヘプバーンは当時無名に近かったのですが、本作で主役を射止め、アカデミー賞最優秀主演女優賞を受賞して一躍スターとなりました。実は、今年はおードリーの没後25年であるとともに、『ローマの休日』公開65周年にあたります。何度観ても見あきることがない理由はいくつもあります。例えばダルトン・トランボの作り込まれた脚本のすばらしさ。「こんな伏線があったのか」と見るたびに発見があります。公開当時赤狩りでハリウッドを追われていた彼は、他人の名義を借りて執筆しました。物語の舞台ローマで撮影が行なわれ、スタジオはイタリア映画界の殿堂チネチッタ、「スペイン広場」「真実の口」など数々の名所でロケーション撮影もたっぷり行なわれました。また、オードリーと言えば洗練されたファッション。華やかで洗練された衣装は伝説のデザイナー、イーディス・ヘッドが手がけました。(1953年 アメリカ モノクロ 1時間59分)

オードリー・ヘプバーン  
(1929~1993)

1929年5月4日、ベルギーで生まれる。映画デビューは1948年。ヨーロッパで数本の映画に出演したのち、更なるキャリアを求めて渡米。『ローマの休日』のアン役を射止め、アカデミー賞最優秀主演女優賞を受賞。その後『マイ・フェア・レディ』『ティファニーで朝食を』など数々の名作に出演。1988年からユニセフでの活動を始め、南米やアフリカの子どもたちのために尽力した。1993年1月20日、スイスで病没。

第33回 2018年 **8月31日(金)**

尼崎 市民名画会

上映時間	1回目	2回目
	10:30	14:00

参加費 800円

主催/良い映画を見る会

尼崎市水堂町 1-6-2 アトリエ「そら」

お問合せ/06-6430-6716

(または 080-6118-5394 担当:林)

会場

尼崎市女性センター・トレピエ

3F トレピエホール

電車:阪急神戸線「阪急武庫之荘」駅より  
南へ徒歩3分

バス:阪神バス 15, 43, 43-2, 47-2, 49番  
「北図書館」より北へ徒歩2分